

ゼミ活動報告 「大阪は先物取引のふるさと」

吉延世羅

梅雨の中でも天候に恵まれた6月8日（水）、5期生一行はまたまた大学を飛び出して、今回は“大阪取引所”にお邪魔しました。先生から教えて頂いた先物取引やオプション取引等のデリバティブ取引が行われている現場を実際に見てみようというのが今回の目的です。

午前中のゼミで、デリバティブ取引について勉強し、普通株式取引との違いに戸惑いながらも、役割や魅力について考えることができました。そして午後から大阪取引所に向かいました。まずは五代友厚像の前で記念撮影です、朝ドラの影響ですっかり観光スポットとして浸透しているそうです。ただ市大にある五代さんの方がハンサムだという噂も耳にします。できる方は見比べてみるのも面白いかもしれません。

大阪取引所では、国内証券取引の歴史や証券取引の仕組みについて展示物を含め、広報担当の方に分かりやすく教えて頂きました！大阪は組織的な先物市場としては世界初であることが国際的に知られていて、時代は江戸時代にまで遡ります。その伝統を引き継ぎ、大阪取引所は合併後もデリバティブ市場を提供しているということです。5期生からの質問にも丁寧に対応して頂けて、大変勉強になりました！取引所の競争力を決める点として、投資家に対する信用力を挙げられていて、透明で滞りのない取引環境を整備するのに尽力する取引所の方の姿を考えました。その他にも、取引所や証券取引について普段では聞けないようなお話を沢山伺えました。見学を通して、証券取引を少し身近に感じられるようになったと思います。

また取引所のある北浜も素敵な街で、見学後の散策も楽しい時間でした。今回の経験はこれからの勉強への大きなモチベーションになりました。お世話になった大阪取引所の職員の方々、貴重な機会をありがとうございました！

